



人類に
奉仕する
ロータリー



John

ジョン・ジャーム
2016-17年度国際ロータリー会長

No.19

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“素晴らしい仲間を持つ”

- ① ロータリーは親睦から
- ② 利他の心を持つ
- ③ フィロソフィを持つ

例会記録 (2016. 11. 25 (金)) 通算3,103回

◆開会

◆唱歌 ロータリーソング「我らの生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆プログラム予定

12月2日 (金)	12月9日 (金)	12月16日 (金)	12月23日 (金)
卓話 「米山奨学生」 ラウン・ピタクサ・ チョンニカーン氏	年次総会 次年度理事役員決定	卓話 「自己紹介」 本庄幸保会員	休会 (祝日のため)

◆出席報告

本日11月25日 会員数39名 出席者21名 出席率 63.36%
前々回11月11日 会員数39名 修正出席者39名 出席率100.00%修正

◆MAKE-UP

脇谷 政孝会員 加古川 R C 11月24日 (11月25日)
丸山 恵右会員 e-CLUB 11月21日 (11月25日)
丸山 恵右会員 e-CLUB 11月20日 (11月18日)
後藤 純次会員 e-CLUB 11月23日 (11月25日)

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

中野 哲郎会長……市内6クラブゴルフ大会で優勝しました。西田会員、本日の卓話よろしくお祈いします。

西田 秀雄会員……本日は卓話にて自己紹介をさせていただきます。

森本 幸吉会員……西田会員、本日の卓話よろしくお祈いします。

早退2名

◆幹事報告 (3,103回)

〈ガバナー事務局より〉

◎『RYLA学友卓話について』

◎地区大会ご参加・ご登録のお願い

◎2016-17年度第2680地区大会プログラム(案)が届いております。

〈例会変更のお知らせ〉

◎姫路ロータリークラブ

・平成28年12月13日(火) 忘年家族例会 18:30~20:30
於：姫路商工会議所2階 大ホール

・平成28年12月27日(火) 休会

・平成29年 1月 3日(火) 休会

◎姫路南ロータリークラブ

・平成28年12月26日(月) 忘年家族例会
17:30~ 例会
18:00~ 忘年家族会
於：ホテル日航姫路「光琳の間」

〈その他〉

◎東播第2グループより

『2016-17年度東播第2グループI・M・開催のご案内』が届いております。

◎株式会社阪急交通社より

『2017年ロータリー国際大会アトランタのご案内』が届いております。

◎相生RCより週報が届いております。

◆会長の時間

「惚れさんかえ！」私が塾長の言葉で一番強烈な印象を持っている言葉です。簡単で単純な言葉ですが実に奥が深い。この言葉に塾長の教えがすべて詰まっていると思う。惚れさせるには、どういうことが必要なのか。人間性、哲学、考え方、人格というものを絶えず向上させていくよう努力を重ねていく必要がある。それらを向上させていくうえで、やっていることが正解か間違っているのか自分自身では不安でもありわか

らない。だから盛和塾播磨の塾生同士で学び、自分というものをさらけ出し意見をぶつけて少しでもわかる経営者にならなあかん。時間が無いぞ。火事になってからでは遅いんや。火事になる前に火事の恐ろしさを勉強しとかな手遅れになるのと違うやろか。社長の価値は、どれだけの人のために尽くし、どれだけの人、社員を幸せにするかではないのか。多くの人に慕われ愛される豊かな経営者になるために盛和塾「播磨」でフィロソフィを学び心を高めていこう。

以上、これは盛和塾播磨のホームページに載せている入塾を誘う檄文であります。我々は塾長にフィロソフィ、アメーバ経営、十二か条、六つの精進など経営者にとって、すべてのことを教えていただきました。

塾長、ありがとうございます。

さて、私は播磨の国、謡曲「高砂」(高砂や、この浦船帆をあげて～月もろともに出で潮の～)。多分、塾長もこの謡で結婚式をされたのではないかと思います。その高砂市で商売をさせていただいています。この町の生まれで塾長と同じような考えを持っていた「工楽松右衛門」という江戸時代、将軍吉宗の時代の先人がいましたので、少し話をさせていただきます。工楽松右衛門は船頭であり商人であり、高砂はもとより広島県の鞆の浦、函館、択捉島などの築港、つまり技術者として港を作ったり、また保存食として新巻鮭を考案したり、そして千石船の帆を独自で開発した丈夫で簡単に破れない帆を発明したりした人です。この帆を織る技術を独占することなく人々に無償で教え織物がこのあたりの産業にまで発展しました。またこの松右衛門帆によって日本の海上輸送が飛躍的に発展したことは言うまでもありません。創意工夫で「工夫を楽しむ」「工事を楽しむ」ということから、幕府から「工楽」という名字を与えられ帯刀を許されました。

工夫を楽しむとは、まさしく塾長が、困難だ、無理だと思われた仕事に挑戦し続けてこられた姿に重なります。

また、彼の残した言葉に、「人として天下の益ならん事を計らず、碌碌として一生を過ごさんは禽獣にも劣るべし」(=人として世の中の役立つことをせずに、ただ一生を漠然と送るのは鳥や獣にも劣る)

松右衛門の教えは塾長の言われる「誰にも負けない努力をする」「利他の心」「手の切れるような製品を作る」「常に創造的な仕事をする」ではないでしょうか。

我々は松右衛門とは時代が異なるため、会って話を聞くことができませんが、塾長とは



中野哲郎会長

同じ時代に生き、直接経営の要諦を教わることができるという幸運に恵まれています。

塾長、本日は我々のために貴重な時間を割いてお越しいただき、大変心に沁みる講話を聴かせていただきまして本当にありがとうございました。また、今年一年我々をど真剣にご指導いただき感謝の念が堪えません。

我々は今後も塾長の教えを血肉化^{ちにく}するまで学び、実践し続けていきますので、また来年も活力にみなぎり、叱咤激励を頂けますようお願いいたします。

以上をもちまして、稲盛塾長、盛和塾スタッフ、ソウルメイトの皆様に対しまして、感謝の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

◆本日のプログラム

卓話「自己紹介」 西田秀雄会員



会 長 中野 哲郎 幹 事 豊田 克義
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 後藤 宗久
例会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/